

I 研究の概要

1 研究主題

運動の楽しさや喜びを味わう体育学習

～体づくりの運動遊び・体づくり運動を通して～

2 主題設定の理由

本校は、「すこやか・まなび・おもいやり」という教育目標を掲げ、心身ともに健康である児童の育成を目指している。教育目標の中の「すこやか」とは、健康や安全について関心をもち、すすんで体を鍛える子と捉えている。

しかし、本校でも運動する子供とそうでない子供の二極化の傾向が見られ、体力の低下が懸念される。体力テストの結果でも、学年によって差が見られるものの、全国、東京都平均を下回る種目がある。そこで、昨年度は、体育科の学習を取り上げ、運動の楽しさや喜びを味わわせることで、日常的に運動に親しむ児童を育てたいと考え、様々な運動の基本となる「陸上運動」と経験の差が出やすく苦手意識をもつ児童が多い「器械運動」の領域について、指導法の研究をした。

2年目の今年度は、他の領域において扱いにくい様々な体の動きを培う「体づくり運動（体づくりの運動遊び）」の領域を取り上げた。教師がねらいを明確にして指導の工夫をすることで、児童が運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に意欲的に取り組むようになれば、体力を向上させることにつながる。指導法を工夫し授業を充実させていきたいと考え、この主題を設定した。

3 研究の内容

(1) 「体づくり運動」を研究領域として、児童が運動の楽しさや喜びを味わえるような指導の工夫を行う。

1・2年	3・4年	5・6年
体づくりの運動遊び	体づくり運動	
体ほぐしの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動

(2) 各学年で身に付けさせたい力を明らかにする。

(3) 指導内容を明確化する。

(4) 意識調査や体力テストを分析し、児童の変容を確認し、指導方法が有効であったか検証する。

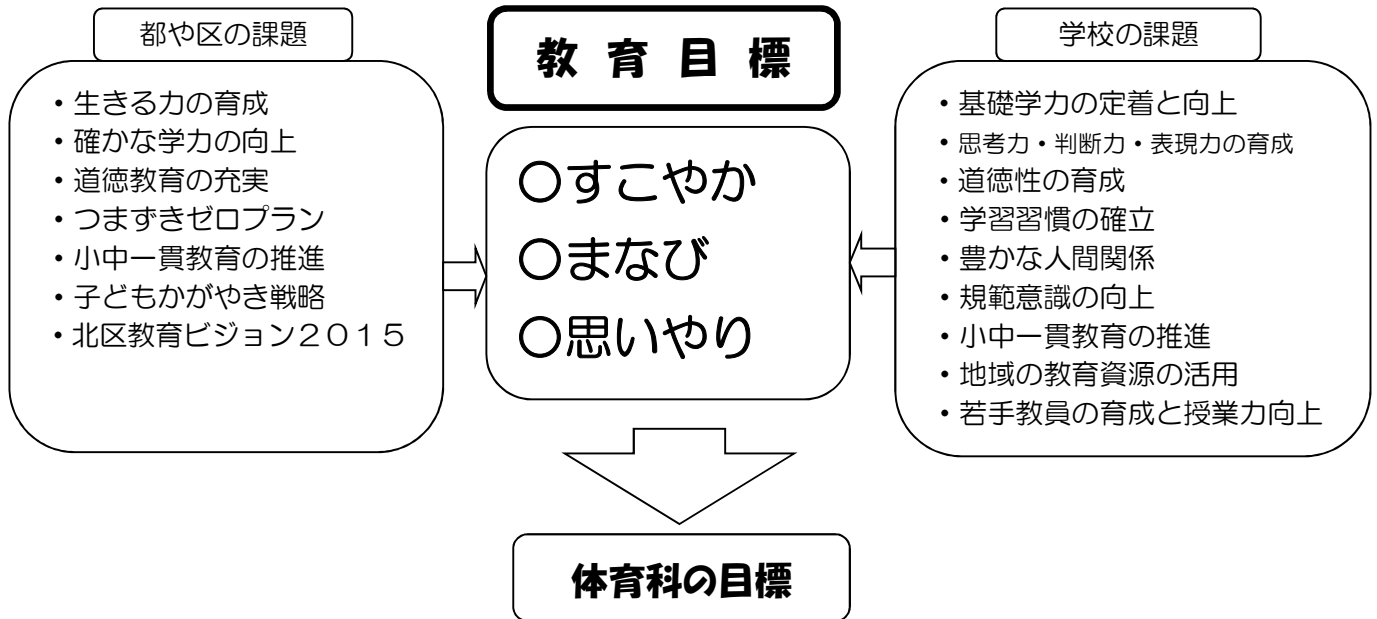
◎全校での取り組み

①体力向上実施計画に基づき、以下のような取り組みを行っている。

- ・体育朝会
- ・大縄大会（北区立小学校長なわトライの実施）
- ・持久走週間

②すくすくカード（生活振り返りカード）の取り組み

研究構想図



指導要領（現行）

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

新学習指導要領

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

研究主題

運動の楽しさや喜びを味わう体育学習

～体づくりの運動遊び・体づくり運動を通して～

研究仮説

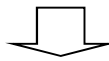
場の設定等、指導や支援の工夫を通して授業の改善を行うことで、児童が運動の楽しさや喜びを味わうことができれば、その特性に応じた基本的な技能を身に付けさせることができる。そのことによって運動への関心が高まり、自ら運動する意欲にもつながり、体力の向上につながるだろう。さらに、課題を解決するために必要な思考力や判断力を育成することにつながるのではないか。



研究の内容

- 児童が運動の楽しさや喜びを味わえるような指導方法を工夫する。
- 各学年で身に付けさせたい力を明らかにし、支援の工夫をする。
- 指導内容を明確化する。
- 意識調査や体力テストの分析を行い、児童の変容を追う。

児童の実態		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none">・運動が好きな児童が多い。・経験不足による能力差が大きい。・思い通りに体を動かせない児童がいる。・苦手意識があり、運動の楽しさをまだ味わえていない児童がいる。	<ul style="list-style-type: none">・運動が好きな児童が多い。・自分の思う動きと実際の動きが合っていない児童がいる。・経験がなく、体の動かし方を知らない児童が多い。 (引っ張る、跳ぶなど)	<ul style="list-style-type: none">・新しいこと、少し難しいことにチャレンジしない。・あきらめがはやい。・力強い動きが苦手。・運動経験が少ない。



目指す児童像		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none">・いろいろな動きに挑戦できる児童・苦手なことにも意欲的に挑戦できる児童・友達と関わり合い、体を動かす楽しさを味わえる児童	<ul style="list-style-type: none">・自己の課題（できるようになりたい動き）を見つけられる児童・他者のよい動きを見つけ自分の動きに取り入れることのできる児童・自己の課題（できるようになりたい動き）を解決するために動きを工夫できる児童	<ul style="list-style-type: none">・体づくりに意欲的に取り組む児童・運動の楽しさを知り、日常的に運動に取り組める児童

4 研究の経過

- 4月17日 研究全体会
 - ・今年度の研究の進め方について
 - ・実技研修会（体づくり運動）

 - 研究授業 全6回
 - 第1回～第5回 講師：同 渡邊 浩先生
 - 第6回 区一般訪問

 - 6月28日 研究授業 『体づくり運動 ～多様な動きをつくる運動～』
授業者：4年2組 石川 大樹 教諭

 - 7月16日 研究授業 『体づくり運動 ～多様な動きをつくる運動～』
授業者：3年2組 井上 尚子 教諭

 - 9月19日 研究授業 『体づくり運動』
授業者：6年1組 竹井 聡美 主任教諭

 - 11月13日 研究授業 『体づくりの運動遊び』
授業者：2年2組 本多 麻美 教諭

 - 11月26日 研究授業 『体づくり運動』
授業者：5年1組 渡邊 麻起子 主任教諭

 - 12月18日 研究授業 『体づくりの運動遊び』
授業者：1年1組 稲垣 敬子 主任教諭
-
- 2月19日 研究全体会
 - ・今年度の成果と課題について
 - ・次年度の研究計画